

WAMは福祉と医療の民間活動を応援します

平成30年10月3日
独立行政法人福祉医療機構
経営サポートセンター長 須田 哲
経営サポートセンター リサーチグループ
グループリーダー 川森 大輔
担当 関・小寺 (電話) 03-3438-9932
(FAX) 03-3438-0371

社会福祉法人経営動向調査（平成30年9月）の結果について

独立行政法人福祉医療機構では、四半期毎（3月、6月、9月、12月）に社会福祉法人経営動向調査を実施しています。今回は平成30年9月に実施した本調査の結果についてご報告します。
詳細はホームページ (<http://www.wam.go.jp/hp/guide-keiei-survey-tabid-2274/>) に掲載しております。

1. 調査の概要

- 対象：特別養護老人ホームを運営する社会福祉法人 489 法人
- 調査事項：・社会福祉法人および特別養護老人ホームの業況、資金繰り、従事者数等に関する現在の状況と3ヶ月後の先行き予測
- 回答数：472
- 有効回答数：472
- 有効回答率：96.5%
- 実施期間：平成30年9月3日（月）～平成30年9月18日（火）
- 実施方法：Web上で実施
- 集計方法：DI（景気変動を判断するための指標。各項目の第1選択肢の回答割合から第3選択肢の回答割合を差し引いて算出）に加工・集計して公表

2. 調査の結果

【社会福祉法人の動向】

- 業況のDIは、前回調査より2%ポイント低下し、4となった
- サービス活動収益のDIは、前回調査より5%ポイント低下し、△5となった
- サービス活動増減差額のDIは、前回調査より4%ポイント低下し、△12となった
- サービス活動増減差額（黒字・赤字）のDIは、前回調査より7%ポイント低下し、17となった
- 資金繰りのDIは、前回調査より2%ポイント低下し、△5となった
- 従業員数のDIは、前回調査より5%ポイント低下し、△72となった
- いずれの項目においても前回調査時より低下し、見通しの数値はさらに低下した

【特別養護老人ホームの動向】

- サービス活動収益のDIは、前回調査より2%ポイント低下し、△2となった
- サービス活動増減差額のDIは、前回調査より1%ポイント低下し、△8となった
- サービス活動増減差額（黒字・赤字）のDIは、前回調査より6%ポイント低下し、14となった
- 施設全体の従業員数のDIは、前回調査より4%ポイント低下し、△67となった
- 介護職員の確保のDIは、前回調査より2%ポイント低下し、△89となった
- 人件費のDIは、前回調査より若干増加し、△46となった
- 稼働率のDIは、前回調査より3%ポイント増加し、△9となった
- 他施設との競合のDIは、前回調査より3%ポイント増加し、△31となった
- 待機者のDIは、前回調査より5%ポイント増加し、△18となった
- いずれの項目においても見通しの数値は低下した

以上